

水稲「風さやか」栽培指針(平成30年版)

長野農業改良普及センター、JA ながの 須高ブロック

	11月		3月		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
作業体系	堆肥施用 耕起		種子消毒 浸種 催芽 播種			育苗管理(30日) 基肥施用 入水 荒代 植代			田植え 初中期除草剤散布			生育診断 雑草発生状況により 中期及び後期剤散布			出穂期観察			落水			収穫判定 収穫				
水管理			入水			浅水			中干			間断灌水 深水			間断灌水			落水							
栽培管理	<p>「風さやか」の特徴：長野県農業試験場育成。 コシヒカリに比べ、出穂が4日、成熟期で7日程度遅い。倒伏・いもち病に強く、収量性が良い。過度な籾数増加をもたらす施肥は登熟歩合の低下や未熟粒の増加及び食味の低下につながるのを避ける。</p> <p>～良食味・高品質米を目指して～</p> <p>1 基肥施用 須高オリジナル肥料 10a当たり『美田Ⅱ100kg』+『優稲生Ⅲ60kg』 土づくり肥料 一発型肥料 多肥にすると、無効分げつ、くす米、未熟粒が増加する傾向にある。 過剰な施肥はしないこと。(食用うるち米と同等程度とする) ☆堆肥を施用する場合、春施用すると、ガス湧きによる生育阻害が生じるので、<u>基本的に前年の秋に施用し</u>、耕起、分解を促進する。 ☆その他の有機物を施用する場合は普及センター・JAへ相談する。</p> <p>2 播種・育苗管理 ・一般の品種と同様に行う。</p> <p>3 田植え ・時期：5月中下旬 遅れると適正穂数確保できないので注意する。 ・適正標高：600m以下 ・一般栽培に準じ、60株/坪植え(条間30cm、株間18cm)、3～4本植えとする。極端な疎植(50株未満)は避ける。 (条間30cm、株間22cm以上で50株/m²未満になります)</p>																								
	<p>4 病虫害防除 (1) 苗箱施薬：殺菌殺虫剤を必ず処理する (2) いもち病防除：葉いもちが見られた場合は予防剤を、穂いもちの発生の恐れがある場合は治療剤を散布する。 (3) カメムシ防除：慣行どおりに防除を行うこと。</p> <p>5 水管理 ・田植え後ガス湧きが多い場合は、軽く干して酸素供給を行う。 ・幼穂形成期以降、低温時は深水管理を行う。</p> <p>6 中干し 無効分げつや遅れ穂の増加を防ぐため、有効茎数(2枚以上の葉をもつ分げつ)が22～23本程度になったら、中干しをかける(約10日)。</p> <p>7 収穫適期の判定 ・積算気温 1100℃前後とする。 ・帯緑色籾歩合 10%前後で収穫する</p> <p>【目標生育モデル】</p> $60 \text{ 株/坪} (\text{約 } 18 \text{ 本/m}^2) \times 1 \text{ 株穂数 } 25 \text{ 本以下} \Rightarrow 1 \text{ m}^2 \text{ 穂数 } 400 \text{ 本} \times 1 \text{ 穂籾数 } 93 \text{ 粒}$ $\Rightarrow \text{目標 } 1 \text{ m}^2 \text{ 粒数 } \text{約 } 37,000 \text{ 粒} \times \text{登熟歩合 } 82\% \times \text{千粒重 } 22.6 \text{ g} \Rightarrow \text{目標単収(1.85mm)} 686 \text{ kg/10a}$																								

